



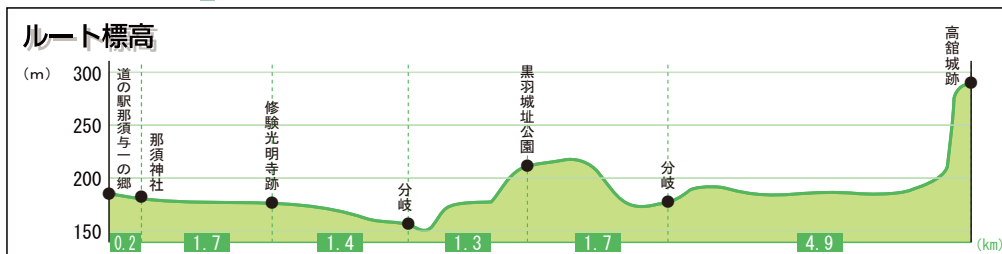
首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

このコースは今から320年ほど前に俳聖・松尾芭蕉が「奥の細道」の旅路の中で長く滞在した、黒羽の地をめぐるコースです。途中、黒羽の街の通過は2つのコースが選べます。1つは那珂川を人道橋で渡り、芭蕉に関わる資料を展示した芭蕉の館やあじさいの名所として知られる黒羽城址を通るコース、もう1つは国道294号に沿って、那珂川の流れによって形作られた高岩園地や郷土資料館くらしの館を通るコースとなっています。両コースは再び合流すると、那珂川左岸の山の上にある高館城跡を目指します。(高館城跡は公共交通機関のアクセスがありませんのでご注意ください)

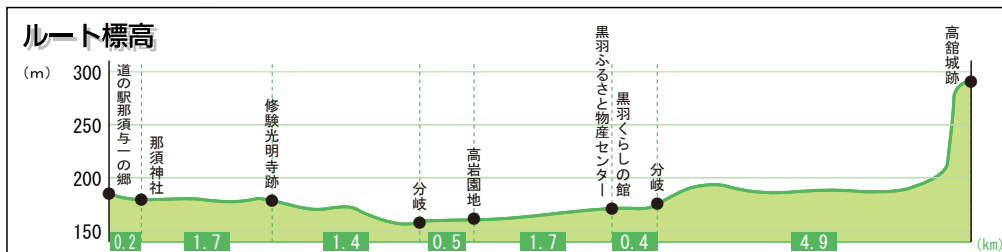
栃木県

33.1 黒羽芭蕉のみち 11.2km



栃木県

33.2 高館城跡へのみち 10.8km



踏破認定撮影ポイント



修験光明寺跡

那須与一が建立したと伝えられているお寺。その後、永正年間(1504~1520)に修験道へ改められた。松尾芭蕉は元禄2年4月9日、光明寺に招かれて行者堂を拝し、「夏山に足駄を拝む首途哉」と句を残している。

入口がわかりにくいので注意。

問い合わせ

- 栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
- 栃木県県北環境森林事務所 環境企画課
- 大田原市役所 商工観光課

〒320-8501 宇都宮市橋田1-1-20
TEL:028-623-3206
〒324-0056 大田原市中央1-9-9
TEL:0287-23-6363
〒324-0692 大田原市本町1-4-1
TEL:0287-23-8709

コース周辺の見所



道の駅那須与一の郷

平成15年にオープンした、国道461号線沿いの道の駅。食事や農産物直売のほか、与一伝承館ではからくり人形や、那須家伝来の宝物をはじめとする貴重な資料の展示を見ることができる。(与一伝承館は第1、第4月曜日休館)



那須神社

仁徳天皇の時代(313年~399年)の創立と伝えられており、延暦年中(782年~806年)には征夷大将軍坂上田村麿が応仁天皇を祀って八幡宮にしたと伝えられている。周囲は緑地環境保全地域に指定されており、参道の並木をはじめとした境内林は良好な緑地環境が保たれている。



芭蕉の館

芭蕉に関する資料と、黒羽藩主であった大関氏についての資料を、展示している。これ以外に企画展の開催もある。毎週月曜休館。



黒羽城址公園

戦国時代から江戸末期まで大関氏の居城として続いた黒羽城の城跡が現在は公園となっている。空堀や土塁が残っており、かつての面影を伝えている。あじさいの名所としても有名で、約6000株のあじさいが咲く時期には、紫陽花祭りが開催される。



高岩園地

那珂川に張り出した岩の造形が見られる景勝地。四季を通じて水と岩によって作られる景色が楽しめる。高岩神社と波切不動尊がある。



高館城跡

那珂川左岸の山城跡。平安時代末期に那須与一宗隆の父、資隆が築き、一時は与一宗隆も在城したと伝わっている。頼朝の命を受けた梶原景時に攻められ、落城したとされる。なお、現在は県道がこの下をトンネルで抜けている。